

<p>【学年】 2年</p>	<p>【教科・題材】国語「しかけカードの作り方」(6時間) 「おもちゃの作り方」(4時間) + 図工「まどをあけて こんにちは」(4時間)</p>
<p>【実践内容】</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読んで、しかけカードを作り、「説明のしかた」について意識をもつことができる。 ・作品の作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書くことができる。 <p>○実践の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆教材文を読んで、学習の見通しをもつ。① ☆「しかけカードの作り方」を読んで、作品の作り方の順序を理解する。② ☆「しかけカードの作り方」を読みながら、しかけカードを作る。① ☆筆者の説明の「こつ」を話し合う。② ☆「おもちゃの作り方」を読んで、説明文の書き方を理解する。① ☆「まどをあけてこんにちは」の自分の作品を作る。④ ☆自分の作品の作り方を整理して書く。③ <p>知的好奇心について</p> <p>本学級には、ものづくりが大好きな児童が多くいる。生活科で「うごくおもちゃ」を作り、それを使って遊ぶ学習では、多くの児童が自分のおもちゃにこだわりをもち、作ったり工夫したりしていた。実際にそのものに触れながら取り組むことで関心やこだわりが出てくると考えた。</p> <p>「まどをあけてこんにちは」という図工の単元と合科し、図工の作品の作り方をわかりやすく説明することをめあてとした。自分の作品の作り方を文章や絵で説明しようとするのが、わかりやすく書きたいという知的好奇心につながると考えた。</p>	
<p>【子どもの様子・反省】</p> <p>○順序を表す言葉を確認し、用意したワークシートに書くことで、より順序を表す言葉を意識したようであった。</p> <p>○自分の作った作品を見ながら順序を考えながら書こうとする姿があった。</p> <p>△わかりやすく説明する相手意識をはっきり持たせることで、説明文の書き方が変わってくる。(文末表現など)</p> <p>△作ることに興味がいきがちな児童もみられた。</p>	

